



「よ～し・・・あとはおれにまかせろ！」 益城幼稚園運動会



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成23年(2011) 9月定例議会 No.45

さわやかな秋の訪れ



平成22年度決算などを  
認定

- 益城町暴力団排除条例を制定
- 厳しさを増す国保運営

一般質問  
6名が町政を問う

P4～P9

常任委員会レポート

P10～P11

沖縄・八重瀬町より  
広報視察

P13



# ご意見番

**平成23年度補正予算を聞く**  
 地域づくり夢チャレンジ推進補助金の160万円の事業内容を伺いたい。

この補助金は本年度から新しく始まった県の補助事業で、市町村や地域住民の自主的な地域づくりを後押しするため、定住や雇用、交流拡大等に資する取り組みへの総合的な支援を目的とした事業である。補助率は、2分の1となっている。

本町では、この補助事業を活用し、九州新幹線全線開通を機に、熊本の伝統文化の素晴らしさを県内外に創造発信するため、益城町文化協会と連携し、新作能「武蔵」の公演計画をしている。

本年度8月4日に県から事業の補助金決定の通知を受けたので、今回の補正予算に計上したものである。

**住宅新築資金等貸付金**  
 収入の457万5千円は繰り上げ償還との説明があったが、詳しい内容は。

住宅新築資金貸付及び宅地取得資金貸付において、一括で7カ年分繰り上げ償還された方が1名おられる。

大日本スクリーンの進出はどのような進出か。また見通しは。

大日本スクリーンの件については、9月の県議会に土地取得の問題について上程されると聞いており、順調な進出が図られているものだと認識している。

非常備消防費については、県市町村総合事務組合負担金で当初予算で計上しているのに、なぜこの時期に補正が必要なのか。

今年3月の、東日本大震災で、多くの消防団員の方々が水門閉

鎮、人命救助、避難誘導の際、大津波に巻き込まれて殉職された。

総務省の調べによると消防団員の死者行方不明者は、251人（8月3日現在）にのぼり、その多くが公務中であつたため、当該団員の属する市町村は、確実な公務災害補償を行う必要がある。今回の補正はそのために要する経費が多額になる見込みであり、本年度に限り掛金の額が引き上げられた。

**平成22年度決算を問う**  
 商工業振興費のなかで、熊本県信用保証協会損失保証金として、33万2800円が支払われているがその内容はどのようなものであるか。

熊本県信用保証協会損失保証金については、益城町と熊本県信

用保証協会との損失補償契約により、信用保証協会が定めている市町村特別小口資金保障制度要綱に基づき、益城町の出損金1900万円の25倍までを限度として、貸付金の信用保証を行うものである。

平成22年度に支出した損失保証金は、その制度にのっとり、損失補償を行ったものである。

教育費の使用料及び賃借料として、2120万2508円が支出済みになっているが、備考欄に内容が記載されていないので、その内容を教えてください。

使用料及び賃借料は小学校のパソコンリース料がほとんどで、特別支援学級のバス借り上げ料なども含まれている。



新築移転した益城交番

新しい益城交番の土地は借用か、それとも元の交番の所と交換になったのか報告していただきたい。

新しい益城交番の土地については、現在町有地であり警察に貸し付けている。今後、元の交番跡地（県有地）の境界の確定を待つて、双方の土地の検討作業に入る。

# 9月定例会

## 平成22年度決算 一般会計歳出 9,611,183千円

**国民健康保険特別会計 大幅な赤字**  
 国民健康保険運営が下記の表で示す通り、非常に厳しい状況になってきている。単年度収支で平成21年度は1億5858万2千円、平成22年度は1億5320万5千円の赤字となっており、基金も少なくなっている。

景気低迷により保険収入は減少しているなか、医療費は年々増加しており、被保険者の健康増進を図るなど早急に対策を講じなければならぬ。

**平成23年度補正予算・平成22年度決算などを可決・認定**

平成22年度決算においては、長引く景気低迷により税金などに伸びがみられず、自主財源は歳入総額の42・9パーセントと、まだまだ交付金や交付税など国や県に頼る部分が大きくなっている。

### 国保会計 決算収支の状況 (単位：千円、%)

項目	年度	平成22年度	平成21年度	比較増減	
				増減額	増減率
歳入		3,749,528	3,797,619	△48,091	△1.3
歳出		3,666,601	3,561,487	105,114	3.0
歳入歳出差引残高(形式収入)		82,927	236,132	△153,205	△64.9
翌年度へ繰り越すべき財源		0	0	0	—
実質収支		82,927	236,132	△153,205	△64.9
単年度収支		△153,205	△158,582	5,377	—

※単年度収支＝当該年度1年間の収支

### 一般会計決算審査意見書の主な内容

**歳入歳出決算の状況**  
 平成22年度一般会計決算額については、歳入総額が100億6575万で前年度に対して14億6037万円、率にして12・7%の減、歳出総額が96億1118万3千円で前年度に対して14億9056万4千円、率にして13・4%の減となり、歳入歳出差引残高(形式収支)は、4億5456万7千円となっている。

翌年度への繰り越し財源が9015万7千円あり、実質収支額は3億6441万円となっている。また、単年度収支は9993万4千円の赤字となっている。

### 益城町暴力団排除条例を制定

町民の安全で平穏な生活の確保のため暴力団排除条例を制定するものである。

「(目的)暴力団員の不当な行為が町民生活及び経済社会に多大な悪影響を及ぼしていることにかんがみ、益城町からの暴力団の排除に關し、基本理念を定め、並びに町及び町民の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除に關する施策等を定めることにより、暴力団の排除を推進し、もって町民の安全で平穏な生活の確保及び経済社会の健全な発展に寄与することを目的とする。」



江越 信保議員

近隣町村と連携した自然と歴史、文化に触れ合う魅力ある観光地づくりを

江越 熊本市から一番近い地の利を得る当町として、憩いと歴史の町、自然公園や四賢婦人生誕の地として整備すると共に、町の特産物を活かした魅力ある観光事業を整備してはどうか。

当町には観光課や観光協会もなく、観光事業や整備について本格的に取り組む必要性を感じる。

飯田山からそうめん滝、町の特産物をいただきながら四賢婦人記念館をめぐり、蘇峰生誕の地を経て潮井水源公園へ。夏には足元にニジマスが泳ぎ、冷たい水でそうめん流し、周りには四季の花々を愛でる。

津森や福田、飯野地域には蛸が飛び交い、遠くへ行かなくてもわが町で蛸が見れる。こうした環境の整備も重要である。

近隣にはない、わが町の特性を活かした「人集う町づくり」自然と歴史、文化に触れ合う魅力ある観光づくりについて町長のお考えを伺いたい。



公園化が期待される潮井水源



矢嶋家や徳富蘇峰に関する資料館（四賢婦人記念館）



心とませる田園道路

町長 優れた環境の益城町に企業を誘致したい。また多くの人に住んでいただきたい。しかし益城町はどんなところだと次元を変えてみると観光はとても大事だと思う。年間を通じて「木山初市」「ジョギングフェア」みんなの夏祭り」等商工会が主催するイベントも多くある。また文化財や歴史、史跡も数多く点在する。特に福田地域には蛸も飛び

金5億円、公共整備基金11億円、公共下水道基金6.5億円、その他の基金6.7億円となっている。次に、今後5年間に予想される町債残高及び税収の見込みについては、現在予定している保健福祉センター、地域再生道路建設、議会、本庁舎等の耐震化の他に、今後広安西小学校の分離等が必要になった場合は、110億円に膨らむと予想される。税収については、微増は期待できるが、大きな税収の伸びは難しい。



地域再生道路

町長 平成22年度の陳情受付件数及び処置数は、建設課で受付100件処置72件、農政課で受付91件処置54件、都市計画課で受付5件処置4件、総務課で受付9件処置4件、教育その他で受付5件処置5件、受付合計210件処置合計139件で、費用総額2億2千万円となる。陳情ルールは一応区長を通す。又陳情の回答は多岐に亘り、個人への配慮から回答していないが、今後研究・検討してみたい。住民の皆様への希望は特にないが、陳情時期が6月頃なので遅れの無いように地区で良く話し合いの上陳情されればと思う。



拡幅された県道交差点（安永地区）



宮崎 金次議員

### 町の財政の現状はどうなっているのか。大丈夫か

町の財政状況は良好である

### 陳情数及び陳情にあたってのルール・回答はしてるか

今後、研究・検討する

#### 町の財政状況について

宮崎 「町の財政は大丈夫か」という住民からの素朴な疑問を受けて、次の点についてたずねる。

平成22年度末の町の借金である町債の残高とその内訳、更に町の貯金である積立金の現状及びその内訳はどうなっているのか、又今後5年間に予想される町債残高及び税収の見込みはどうなると予想されているのか、我が益城町が理想とする財政状況を、世間一般に言われる財政指標、つまり経常収支比率、実質公債比率、財政力指数で表すと、どの位の数字が望ましいと思うか。

町長 平成22年度末の町の借金である町債の残高は、約84.4億円、その内訳は道路公共事業債11億円、公営住宅建設債3億円、学校教育施設債20.3億円、町づくり交付事業債9.5億円、臨時財政対策債36億円、その他の事業債4.4億円となっている。また町の貯金である積立金（基金）は、22年度末で、総計40.2億円、その内訳は財政調整基金11億円、減債基

次に財政指標だが平成22年度末で、まず財政構造の弾力性を表すといわれる経常収支比率は、理想的には75%位であるが町は83.4%（県平均89%）、借金返済額が標準財政規模に占める割合である実質公債費率は、町は7.5%（県平均13.6%）、なお18%以上で新たな町債発行は県の認可が必要となる。また、財政力指数については0.58（県平均0.39）で、財政力指数は1.00を超えると国からの交付金は不要となる。財政指標の許される範囲は、県平均値くらいまでで、現状では町の財政状況は良好である。

#### 町民からの陳情について

宮崎 住民から行政への陳情は、町内会長（区長）から町長へ行われることになっており、住民からの陳情・要望に対して、町は真摯に誠実に対応しているが、昨年度1年間に町が受けた陳情数及び処置状況、又陳情を行うに当たっての町のルールはあるのか、更に陳情に対する町からの回答はなされているのか。また陳情に当たって住民に希望する事はあるか。

一般質問



高橋津代美議員

### 広安校区グラウンドの代替地はどこか

地域再生道路沿線が最も良いのではと思う

### 現在の健康管理センターはどうか

リニューアルして社協の本拠地に活用したい

#### 広安校区グラウンドの代替地について

**高橋** 現在、広安校区グラウンドについては、益城町保健福祉センターの建設が予定されている。既に体育館は解体された。

このグラウンドは校区の皆様方が楽しく過ごしてきた思い出の場所であると同時に、現在はお年寄りの方が毎日グラウンドゴルフやゲートボールを楽しんでいる。

また週一回子供サッカーチームが監督の指導のもと練習したり、近所の方の朝夕の散歩コースにもなっていると聞いている。

今後、このグラウンドの代替地についての説明を願いたい。

また、ここには「神木」と呼ばれている榎がある。この榎は残していくと聞いて大変喜んでいる。ここにはアオバズク(ツクロウ)の仲間が毎年来て巣立っていく。工事の際には少し困りをする等の配慮をお願いしたい。

またグラウンド代替地についてはなるべく近くをお願いしたい。



アオバズク

**教育長** 現在まで候補地を山本山グラウンド跡地・地域再生道路沿線・益城中学校付近の3ヶ所に絞り、利便性、経済性、迅速性、周辺環境など様々な角度から検討を行った。その結果、造成が比較的容易で進入路や周辺環境にも適していると言うことで地域再生道路沿線が最も良いのではないかと判断している。

また国の補助事業(社会資本整備総合交付金)を活用するか否かについては関係各課と協議中である。

計画中の町保健福祉センターが平成24年7月頃から着工予定であるため、利用者の皆様方に不自由をかけないようにしたい。当面は農地を借りて整備することも考えている。

#### 益城町保健福祉センターの進捗状況について

**高橋** 益城町保健福祉センターが建設されたならば、既存の健康管理センターはどのようなになるのか。

また、保健福祉センターの現在の進捗状況はどうか。

**町長** 現在使われている健康管理センターの今後の使い方については、社会福祉協議会の事務所が手狭になっていくため、リニューアルして社協の本拠地に活用したい。

益城町保健福祉センターの進捗状況については、基本設計では広さとして2500



益城町保健福祉センター建設予定地

m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート2階建てとしている。機能的には、保健センターの従来の業務を行える機能や児童館及び広安公民館を併設したい。

また現在の広安公民館については撤去し、跡地利用として第二幼稚園の園庭あるいは駐車場等を検討している。



益城町健康管理センター

#### 事業実施計画の見通しのあまそこについて

**稲田** 平成22年度実施計画の中で、23年度予定に、広安西小学校増築工事、普通教室増築分として、1億2500万円計上してある。

しかし、本年度の実施計画では、普通教室増築分として2億768万円の予算が示されており、22年度の実施計画と23年度の実施計画では、8268万円の違いが見受けられる。広安西小学校増築については、22年度に用地取得済みで、23年度に6教室増築で行うとの計画ではなかったか。この件は将来の見通しの甘さがあったのではないか。

#### 将来の財政計画見通しについて

に求められると痛感し、しっかりと研究していく。

**稲田** 平成23年度から平成32年度の10年間を計画期間とする、第5次益城町総合計画基本構想計画が策定された。益城町では近年、多くの施設が建設された。平成17年度に陸上競技場、平成19年度交流情報センター、20年度から21年度に益城中央小学校移転改築工事が行われた。こ



益城町保健福祉センター(完成予定図)

れにより、町債が、平成17年度は57億1627万円、平成22年度には84億4000万円になり、5年間で27億2373万円の増加となり、町民一人当たり25万円の借金となる。

今後の事業計画として、平成24年度に益城町保健福祉センター建設、24年度から25年度に飯田山、潮井公園施設工事が計画されている。また、広安グラウンドの新設、決定ではないが広安西小学校の分離校建設等の検討がなされている。この事業に対し、一般財源はもちろん、起債額が増える予想される。施設完成後は、新たに維持管理費が必要になり、歳出増大は財政圧迫の恐れがあると思う。

そのため、税収の確保と、町施設利用料金の見直しなど、本格的に行政改革をする時期に来ていると思うが、町長の考えを伺う。



潮井公園

**町長** 今後の事業として、益城町保健福祉センター建設、庁舎及び議会棟の耐震補強工事、現在進んでいる地域再生道路の整備事業等が予測される。また、仮に広安西小学校分離校舎建設を見込んだ場合、5年後の平成27年度には、町債が110億円程度になると見込まれ、財政運営も厳しさを増すものと思うが、持続可能な財政運営を行い、住民福祉の向上に努める。

一般質問



稲田 忠則議員

### 本格的に行政改革をする時期に来ているのではないか

しっかりとした財政計画のもとに、持続可能な財政運営を行う

**町長** 平成22年度の実施計画時点では、不足する4教室増築を計画したが、予想以上の児童数増加が見込まれ、平成23年度の実施計画では6教室の増築を計画した。

第1期工事分として金額を計上したが、ご指摘の通り差異がある。実施計画については、状況により変化することから、毎年見直しを行うが、状況の変化の的確な読みが更



野田 祐士議員

### 小児医療及び小児救急医療体制の今後のとり組みは

知識の提供・相談及び小児専門病院の誘致・準備の推進を図りたい

### 地区計画・集落内開発制度をどうかすか

面的整備の重要性・市街化調整区域活性連絡協議会で強く要望していく

#### 地域医療・小児医療体制の充実について

**野田** 少子化が叫ばれている。昨今、子育てにかかる経済的負担や精神的不安は大きくなってきている。そんな中、当町の子育て支援への取り組みは、「中学校卒業まで医療費助成」等の素晴らしい事業を行っている。

子育て中の親にとつての最大の心配事は、子どもの病气や怪我である。特に、深夜に具合を悪くする事が間々ある。親にとつては対応に苦慮するところである。

少子化のなか、子どもを大切に育てたいという傾向が更に強まり、また核家族の下で親の育児不安が増え、夜間や休日を受診する小児患者のニーズが増加するなか、専門的な知識や高度な医療を持ち、そして子ども心の問題にも対応できる小児科医師を望む親も増えてきていると感じる。

このような状況のなか、地域の実情に合わせた対策が必要になっていくと考えるが、町として小児医療及び小児救急医療体制の整備について、今後どのように取り組んでい

くつもりか。

**町長** 小児救急医療を含む小児医療体制の整備については、症状に応じた医療が、地域で迅速かつ適正に提供される体制が構築されることが重要である。県では適切な受診に関する啓発活動や小児医療に関する研修を行い、小児救急医療拠点病院の整備をしている。当町として小児科専門医が開院できるような誘致、準備を進めて活動を継続している。また病院に受診する前に保護者が不安なく対応できるように、知識の提供や夜間に相談できる小児救急相談の紹介など、積極的に取り組んでいき普及啓発を推進していく。

#### 地区計画制度・集落内開発制度の活用について

**野田** 当町においての現状は、西側は市街化区域、東側は市街化調整区域といった形態となっている。このような状況のもと様々な地域間格差

の問題が表面化している。この格差を小さくしていく大胆かつ極め細やかな政策・施策を行うっていく必要性があると感じる。

市街化調整区域には様々な規制・問題（農業振興地域）がある。農用地の保全や生産基盤の確保も必要不可欠ではあるが、有効な土地利用を促進することも町の発展及び住民生活の向上には重要になっていく。

**町長** 東西で二分化された状況は否めないと思う。地域再生道路（グランメッセ木山線）については、惣領地区から国道443号までの区間は、町の都市計画マスタープランの中で住宅市街化形成ゾーンと位置づけている。地区計画及び区画整理事業等による面的整備を行っていくのが最良策であると考えている。町行政と民間活力による適切な開発が誘導できるような協議を行い、財政基盤をより良いものにしたと考える。



地域再生道路

その為には地区計画制度の活用と既存コミュニティ開発（集落内開発制度）の活用が重要である。まずは農業振興地域整備計画を早急に見直し、地域再生道路を活かして地域の活性化を図っていく必要があるのではないかと。

に進めていく。

#### 益城カントリーからの寄附金の

**町長** 「ゴルフ場進入路の側溝の蓋をして欲しいと、町長に500万円の寄附金を渡したが、希望と違う使い方がなされている、確かめて欲しい。」との要請を受けた。寄附金であれば、一旦町の会計に計上すべきではないか。水利組合との問題は解決済みであったと言われている。事実かどうか。

#### コミュニティバスの導入

**町長** 現在、県内12市町村で導入されている。高齢者・障がい者の皆さんが買物や病院に行く交通手段として導入を望む声が多い。早急に実現したらどうか。

**町長** 寄附金としては受け取っていない。益城カントリー側と地元地権者の問題解決のために、小切手で500万円を受け取り、地元の担当者に渡している。

**町長** 地域公共交通会議を立ち上げ検討している。来年度の3月までに公共交通計画を策定できる。なお、10月1日から、九州産交バスが益城町総

合運動公園まで定期バスの乗り入れが可能となる予定である。

**町長** 国保会計の悪化は、医療費の増加、収納率の低下などが要因であり、国保税の引き上げや、滞納者に対する差し押えの強化は生活苦に拍車をかけ、支払い出来ない世帯を増加させることになる。健康と命を守るためには、払える保険税に引き下げるべきだ。

町からの支援も含めて、さらに国保税を引き下げるべきではないか。

**町長** 益城町の国保会計は、平成21年度、22年度と大幅に赤字となり、基金も減少している。国保は、加入者の方たちだけで助け合う制度であり、一般会計から繰入することは出来ない。今の段階では、引き下げは出来ない。



甲斐 康之議員

### 益城カントリーからの寄附金はどう使われたのか

寄附金としては受け取っていない

### 住宅リフォーム助成制度の導入を

まだ、実行できないが考えていきたい

### 福祉の充実

「コミュニティバスの導入を」平成24年3月までに計画策定できる

「国保税の引き下げを」引き下げは出来ない

#### 住宅リフォーム助成制度

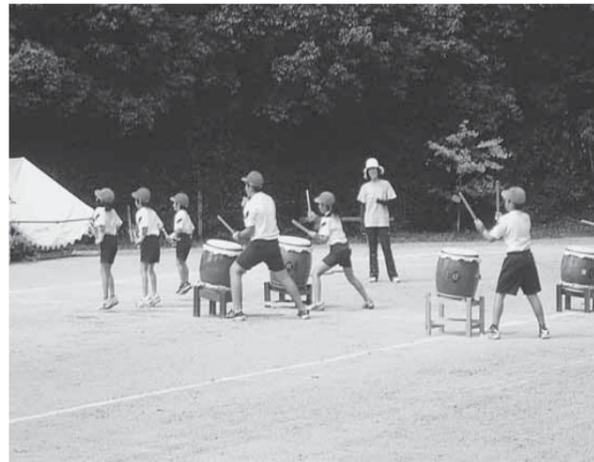
**町長** 地元業者の経営と暮らしを守るために、多くの自治体で取り組みが始まっている。益城町でも導入してはどうか。

**町長** この制度は、確かに効果があると思うが、町全体の状況をとらえた場合に、まだ



新設されたバス停

# 9月議会 常任委員会レポート



運動会の練習に励む子どもたち（袴野中小学校）



七福神桜

## 町道テクノ工業団地線の 早期竣工をはかれ

### 建設 経済



町道テクノ工業団地線  
建設現場



グランメッセ木山線

建設・経済常任委員  
会では、付託された4  
議案について審査を行  
い、いずれも原案のと  
おり全会一致で可決・  
認定した。

新規事業である農  
地・水保全管理支払交  
付金事業の質疑では、  
最新の資料を全議員に  
配布するよう求め、農  
業委員会交際費の支出  
規定や決算書の詳細に  
ついて明確にするよう  
要望があった。

また、下水道処理  
水の水质について質問

があり、執行部から毎  
月水质検査を行ってお  
り問題ない旨の説明が  
あった。

現場視察では、町  
道テクノ工業団地線建  
設現場、同じくグラン  
メッセ木山線及び高速  
道東線東無田交差点の  
3ヶ所を視察した。

町道テクノ工業団地  
線建設現場では、早  
期竣工が望まれるとこ

ろではあるが、国の予  
算の関係で若干完成が  
遅れるとの説明があつ  
た。高速道東線東無  
田交差点では、交通安  
全対策上、危険性があ  
るので、早急に交差点  
改良工事を望む意見が  
あった。

# 9月議会 常任委員会レポート

### 総務

## 「七福神桜」「福田 桜」今後町の観光 スポットとなるか

総務常任委員会で  
は、付託された議案に  
ついて審査を行い、い  
ずれも全会一致で可決  
した。

平成23年度益城町一  
般会計補正予算中、企  
業誘致関係で、大日本  
スクリーン株式会社  
の誘致について、予定ど  
おりに進行しているの  
かとの質問があり、現  
在、県と企業との土地  
売買契約が予定どおり  
に進んでおり、益城町  
への進出が予定されて  
いるとの説明があつ  
た。また平成22年度益  
城町一般会計決算認定  
の中で、福田地域で発  
見された桜の大木「福  
田桜」と「七福神桜」  
を新たな益城町の観光  
地として活用するため  
に、桜にかかったいた  
木を伐採したとの報告  
を受けた。

現地視察では、「七  
福神桜」と「袴野中小  
学校」を視察した。

「七福神桜」につい  
ては山間部にあり、現  
地への道路は幅員が狭  
く、途中は車の離合場  
所がないことから徒歩  
に限定され、観光地と  
しては今後開発を要す  
ることを確認した。

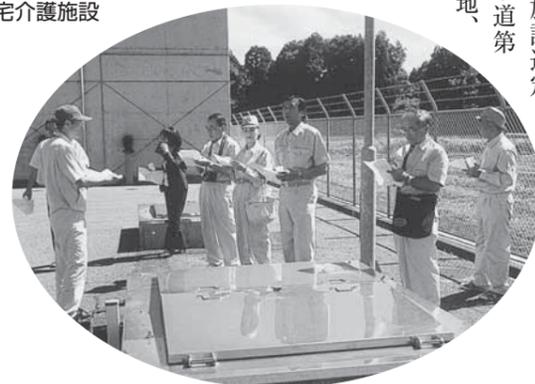
また「袴野中小学校」  
は急傾斜地帯にあり、  
地すべり等の危険性を  
考慮すると、児童の安  
全性を確保しなければ  
ならないことを確認し  
た。今後の学校のあり  
方については御船町、  
益城町、及び地域住民、  
組合議会で協議するこ  
とを要望した。

## 国民健康保険の運営状況について 詳細な説明を受ける

### 福祉



小規模多機能型居宅介護施設  
選定地



益城町上水道第7水源地

福祉常任委員会で  
は、付託された平成23  
年度補正予算ならびに  
平成22年度決算及び条  
例の一部改正について  
審査を行い、いずれも  
原案のとおり可決・認  
定することに決定し  
た。

介護施設整備特例交  
付金の追加に関連し  
て、小規模多機能型居  
宅介護施設が新しく計  
画されているが、どの  
地区に建設を予定して  
いるのか質疑があり、  
益城中学校区には、葉

山荘の下に「いいの」  
と広安小学校北側の  
「あんず」があるので、  
今回は木山中学校区  
に1施設考えている  
との説明があった。

また国民健康保険  
の運用では、歳入、歳  
出の財政状況や基金  
及び繰越金等の推移  
について、詳細な説明  
を受けた。

現地視察は、田原地  
区の小規模多機能型  
居宅介護施設選定  
地と上水道第  
7水源地、

益城町保健福祉セン  
ター建設予定地を視  
察した。

なお、益城町保健福  
祉センター建設予定  
地では、代替のグラウ  
ンドを早急に設置す  
るよう要望があった。

また小規模多機能型  
居宅介護施設選定地  
視察では道路の拡幅  
についての意見が出  
された。

《9月議会での主な議案への賛否の状況》

事件名	結果	野田 祐士	高橋津代美	宮崎 金次	坂本 貢	甲斐 康之	寺本 英孝	坂口 政弘	石田 秀敏	江越 信保	中村 健二	坂田みはる	森上 祐一	稲田 忠則	荒牧 昭博	渡辺 誠男	山内 親宣	竹上 公也	福永 誠一	
平成23年度一般会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度公共下水道特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度一般会計決算認定について	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度土地取得特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度住宅新築資金等特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度国民健康保険特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度老人保健特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度介護保険特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度後期高齢者医療特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度公共下水道特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度農業集落排水事業特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度水道事業特別会計決算認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
住民基本台帳カードの利用に関する条例の改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
印鑑の登録及び証明に関する条例及び手数料条例の改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
暴力団排除条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高遊原南消防組規約の一部変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 裁：議長裁決 可：可決 否：否決 棄：棄権

組合議会から  
ごんごんちは!!

東日本大震災被災地を視察

高遊原南消防組合

組合議会は、9月26日から28日にかけて、3月11日に発生した地震及び大津波等による壊滅的な被害を受けた太平洋沿岸地域の中の宮城県仙台市方面を視察した。



東日本大震災のつめあと

被災地では地震発生から半年以上が経過し、いたる所で瓦礫等の処理が行われ、震災発生当時とは比較にならない程、復興が進んでいたとはいえ、それでも被災地の信じ難い光景を目のあたりにした視察者の中からは驚きの声がかれた。

日本国内で起きた自然災害で死者、行方不明者一万人を超えたのは戦後初めてであり、各分野に与えた影響は計り知れないものがある。

私たち管内にも布田川断層が存在しており、いつ大地震が起きてもおかしくない。

阪神・淡路大震災の時もそうであったが、今後更なる防災意識の向上がいかに大切であるかということ再認識させられる視察となった。



東日本大震災のつめあと

御船地区衛生施設組合

御船地区衛生施設組合定例会が、10月11日開かれた。

①平成22年度一般会計歳入歳出決算認定の承認 ②組合職員の勤務時間、休暇等、及び育児休業に関する条例の一部を改正する議案、並びに平成23年度一般会計補正予算についての議案が採決された。

議会広報 研修記

福岡県須恵町・志免町に学ぶ

〔須恵町〕に学ぶ

表紙：子どもの自然な表情を多く使用  
内容：読みやすく工夫

- ①雑誌『週刊誌』風に
- ②写真を多く・大きく
- ③タイトル・見出しで一目瞭然
- ④四コマまんが

〔志免町〕に学ぶ

表紙：目次に最重要課題内容・読みやすさに心がけ  
①追跡（あの質問はどうなった）  
②わが町のきらっとさん（住民団体）

- 紙面の質・構成
- 紙面の質・構成
- 紙面の質・構成
- 紙面の質・構成



紙面の質・構成  
紙面の質・構成  
紙面の質・構成  
紙面の質・構成



8月22～23日にかけて福岡県糟屋郡須恵町および志免町議会に 広報研修を行ってきました。

両町の『議会だより』の取り組みについては上記したとおりである。

両町は政令指定都市福岡市に隣接した町であり、地理・地形や総人口など益城町と相似した町であると言える。

両町の議会広報委員の方々も、「いかにしたら町民の方々が興味を持つ広報誌を作れるか」、試行錯誤を繰り返しておられた。

広報委員として、上記に記した取り組み等を見させて頂いた事は、とても価値ある有意義な研修でした。

広報委員 野田祐士

共に切磋琢磨  
ありのままを町民に

沖縄 八重瀬町から議会広報を視察

9月28日、沖縄県八重瀬町から当町の議会広報への視察がありました。

八重瀬町は沖縄本島南部に位置し、3町が合併して誕生した町で先の大戦で激戦地といわれた摩文仁丘の東側に位置します。

視察には益城町議会広報編集特別委員全員で対応し、終始活発な意見交換がおこなわれました。

特に、町民に読んでもらう、読みやすくして議会のありのままを多くの方に知ってもらうためには、どの様な工夫をしているのかなどの意見がお互いの委員から出され、八重瀬町も私たち益城町も意義ある情報の交換ができました。

今後11月には福岡県みやこ町からの視察も予定されており、更に議会だよりの充実に役立ててまいります。



## 議会の動き

7月

- 5 郡議長会定例会議
- 7 高遊原南消防組合議会定例会
- 11 町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会
- 12 加勢川改修促進期成会総会  
議会広報編集特別委員会  
第2回臨時議会
- 15 議会広報編集特別委員会
- 19 議会広報編集特別委員会
- 20 地域高規格熊本環状道路建設促進期成会総会
- 27 議会広報編集特別委員会
- 29 熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会

8月

- 2 議会広報編集特別委員会
- 9 九州中央自動車道建設促進期成会要望活動
- 10 益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会定例会
- 12 九州横断自動車道延岡線建設促進協議会協議会総会・決起大会
- 18 国道443号整備促進期成会通常総会
- 19 熊本県町村議会議長会正副議長研修会
- 20 みんなの夏まつり
- 22 町議会広報編集特別委員会視察研修(23日まで)
- 23 上益城平坦地区広域農道整備事業推進協議会総会  
上益城中央地区中山間地域総合整備事業推進協議会総会
- 26 上益城広域連合議会定例会
- 30 熊本県地域福祉トップセミナー
- 31 九州中央自動車道建設促進地方大会

9月

- 1 議会運営委員会  
全員協議会
- 6 第3回益城町議会定例会(13日まで)
- 26 高遊原南消防組合議会議員研修(28日まで)
- 28 議会広報編集特別委員会

### 9月定例会 傍聴者数

1日目 6日(火).....	5名
2日目 7日(水).....	3名
3日目 8日(木).....	51名
最終日 13日(火).....	7名
合計.....	66名
常任委員会(9日・12日)	



子どもたちの  
大きな夢ふくらむ

## いどばた談義

# 皆で健康を考えよう



「益城町の国民健康保険がえら〜い赤字になりよつて聞いたけど、何でかい。」

はい、平成21年度、22年度とも1億数千万円の赤字になっております。原因は景気の悪化に伴い保険税収入が減少したこと、また年々増加する医療費が主な原因だと考えられます。

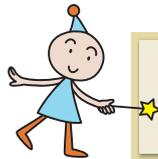
「ほんなら、このままじゃ保険税が上がるかもしれないってことかいた。そら〜困るけん、私たちがちつとでん上がらんでつ何かするこつはなかるか。」

まずは早急な景気の回復がまたれますが、皆さんには健康管理をしっかりとやらせてもらい、元気で丈夫な体を作りましょう。そのひとつとして、ウォーキングやグラウンドゴルフなどで体を動かし、健康増進に努めることも大事です。



楽しいグラウンドゴルフあとの表彰式

また病は早期発見、早期治療が大事です。必ず1年に一度、健康診断を受け健康管理に努めることは、医療費の抑制に繋がりますので、皆で努力しましょう。



次号から  
私の学校自慢(文化系)再登場ご期待を

## 編集後記

10月半ばを過ぎ、秋風が心地よく感じられる今日この頃、まさに食欲の秋、スポーツの秋到来です。

厳しい夏の暑さから解放された、体の疲労回復・体力増強効果のある食材には、梨、ぎんなん、栗、松茸、秋刀魚等、うまく取り入れて健康増進をはかりたいものです。

さて、「ねんりんピック2011(ふれあい)熊本」、全国各地から60歳以上の方々が、スポーツと文化を通して様々なふれあいと、感動を残した素晴らしい大会でした。

県代表の最高齢者は93歳のマランランラン、まさに「継続は力なり」の証明です。議会だより「清水」も、皆様の愛読書に加えていただけるよう、さらに努力を惜しまず挑戦して参ります。  
(文責 坂田みはる)

### 議会広報編集特別委員会

- 委員長 中村 健二
- 副委員長 坂田みはる
- 委員 江越 信保
- 委員 竹上 公也
- 委員 甲斐 康之
- 委員 野田 祐士

平成23年9月議会 益城町議会だより 清水

発行/益城町議会(議長・福永誠一) 編集/議会広報編集特別委員会  
〒861-2295 熊本県上益城郡益城町宮園702 TEL.096-286-3111 (代表) FAX.096-286-4523  
印刷/ホープ印刷株式会社